



令和 8 年度  
学校だより  
6 月号

自ら輝く ときわの子  
～一人ひとりが輝く存在に～  
互いに学び合い  
自分らしさを発揮する子の  
育成を目指します

令和 8 年 5 月 2 9 日

横浜市立常盤台小学校

TEL 331-4808

FAX 331-5429

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tokiwadai/>

「あいさつを大切に」

副校長 釘田 哲臣

登校時の校門や、校内で私の姿を見つけると、子どもたちは元気よくあいさつをしてくれます。そして満面の笑顔で、学校生活のことや家庭での出来事、頑張っていることなどを一生懸命に話してくれます。その様子から、毎日を前向きに、そして大切に過ごしていることがよく伝わってきます。地域の方からも「子どもたちのあいさつは気持ちがいいですね」「声をかけられるとうれしくなります」とお声がけいただくことがあり、子どもたちの明るい姿に、私自身も幸せな気持ちになります。また、登下校の見守りや地域での声かけなど、保護者や地域の皆様の温かい見守りやご協力に支えられていることを改めて実感しています。

私たちの生活の中で、言葉によるコミュニケーションは欠かすことができません。温かみのある言葉は人を励まし、勇気づけますが、反対に冷たい言葉は相手の心を傷つけ、自信を失わせてしまうこともあります。だからこそ大切にしたいのが「あいさつ」です。「挨拶」という漢字や言葉には「心を開いて相手に近づく」という意味があるようです。「おはようございます」「こんにちは」といった何気ない言葉の中にも、相手を思いやる気持ちが込められています。

あいさつを自分から進んでする子どもと、学習に取り組む姿勢には相関関係があり、あいさつがしっかりできる子どもは、進んで授業に取り組んだり、話し合いや対話を通して自分の考えを深めたりすることができると言われています。あいさつを自分からすることは、学びに向かう姿勢や、人と関わる力にもつながっています。また、声を出してあいさつを交わすことは、互いの存在を認め合い、人権を尊重する大切な行為でもあります。

梅雨を迎える6月は、大人も子どもも気持ちが沈みがちになることもあります。そんな時こそ、家庭でも学校でも、そして地域の中でも、元気でさわやかなあいさつを大切にし、温かい言葉が行き交う毎日を教職員と保護者、地域の皆様と共に築いていきたいと考えています。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。